

平成29年7月12日

輸送動向について（6月分）

1. 輸送概況

今月は、下旬に発生した広島地区での大雨等の影響により、月全体で高速貨60本が運休となった（前年は、高速貨123本が運休）。

コンテナについては、大手自動車メーカー各社の新車販売台数が引続き好調に推移しており、自動車部品輸送が大きく増送となった。積合せ貨物も東海・九州地区間等において鉄道へのシフトが進み、好調に推移した。また、食料工業品では、北海道地区における菓子類の生産が復調し、清涼飲料水についても気温の上昇に伴い、長野・静岡・近畿地区からの出荷が旺盛となった。また、化学薬品、化学工業品も堅調な発送となった。

一方、紙・パルプは印刷紙・コート紙の需要が減少していることに加え、一部工場の定期修繕の時期が変更となったこと等により、大幅な減送となっている。コンテナ全体では、前年比103.4%となった。

車扱については、石油が配送圏の見直しにより鉄道へのシフトが進んだことから、大きく前年を上回る発送となった。一方、セメントが定期修繕後の立ち上がり不調となり減送となったが、車扱全体では前年比104.1%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比103.6%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,818	1,759	103.4%	5,431	5,239	103.6%
車 扱	672	645	104.1%	1,917	1,869	102.6%
合 計	2,490	2,404	103.6%	7,348	7,109	103.4%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	101	99	2	102.1%
	化学工業品	178	176	2	100.8%
	化学薬品	123	116	7	106.4%
	食料工業品	334	328	6	101.8%
	紙・パルプ	234	252	-18	93.1%
	他工業品	141	127	14	110.8%
	積合せ貨物	237	221	16	107.3%
	自動車部品	78	59	19	130.7%
	家電・情報機器	39	39	0	99.4%
	エコ関連物資	42	41	1	104.3%
	その他	312	302	10	103.3%
	コンテナ計	1,818	1,759	59	103.4%
車 扱	石 油	410	386	24	106.3%
	セメント・石灰石	127	135	-8	93.8%
	車 両	83	67	16	124.0%
	そ の 他	51	57	-6	90.2%
	車 扱 計	672	645	27	104.1%
合 計		2,490	2,404	86	103.6%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）